



外観



多目的ホール



1階展示室

つなぎ美術館は、熊本県水俣・葦北地域における文化芸術活動の拠点として2001年4月に開館した津奈木町立の美術館です。第二次海老原美術研究所の所長を務めた境野一之をはじめとする熊本県ゆかりの作家による作品やタイ山岳民族の衣装など約450点を収蔵しています。



3階展示室



《薫風》岩野勇三 1987年



《ひまわり》佐藤忠良 1996年



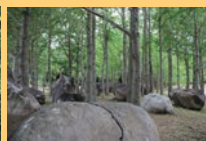
つなぎの根っこ 浅井裕介
2014～2017年

屋外作品

津奈木町では1984年から「緑と彫刻のある町づくり」に取り組んでおり、町内の要所には佐藤忠良の作品をはじめとする16点の彫刻を展示しています。また世界を舞台に活躍する、西野達、柳幸典、浅井裕介の作品も屋外にてご覧いただけます。



《達仏》西野達 2018年



《石霊の森》柳幸典 2021年



《入魂の宿》イメージ 柳幸典
2022年5月公開予定

INFORMATION

利用案内

開館時間
10:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日
水曜日(祝日の場合は次の平日)、12/29～1/3
※臨時休館する場合があります。

観覧料
展覧会によって変わります。
※水俣市・葦北郡の学校による利用は事前申請により無料。
※津奈木町在住または津奈木町の学校に在籍する小・中学生は無料。

喫茶室
10:00～16:30
※臨時休業する場合があります。

駐車場
13台
※つなぎ文化センターの駐車場もご利用いただけます。

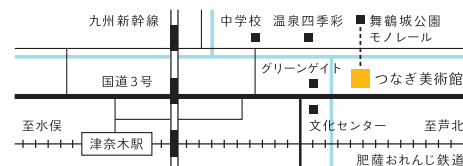
モノレール
美術館と舞鶴城公園展望所を結ぶモノレール(全長241m最高勾配33度)で片道5分のミニトリップが楽しめます。同展望所には野外彫刻を設置しており、晴れた日には不知火海が望めます。令和2年7月豪雨により被災し運休していましたが現代美術家の柳幸典監修のラッピングを施した新車両により運行を再開しました。
往復300円 片道200円



※悪天候・改修工事等により運休する場合があります。

ACCESS

アクセス



- ▶ 肥薩おれんじ鉄道・津奈木駅から徒歩10分
- ▶ 南九州西回り自動車道・津奈木I.C.から車で3分
- ▶ JR九州新幹線・新水俣駅から車で10分



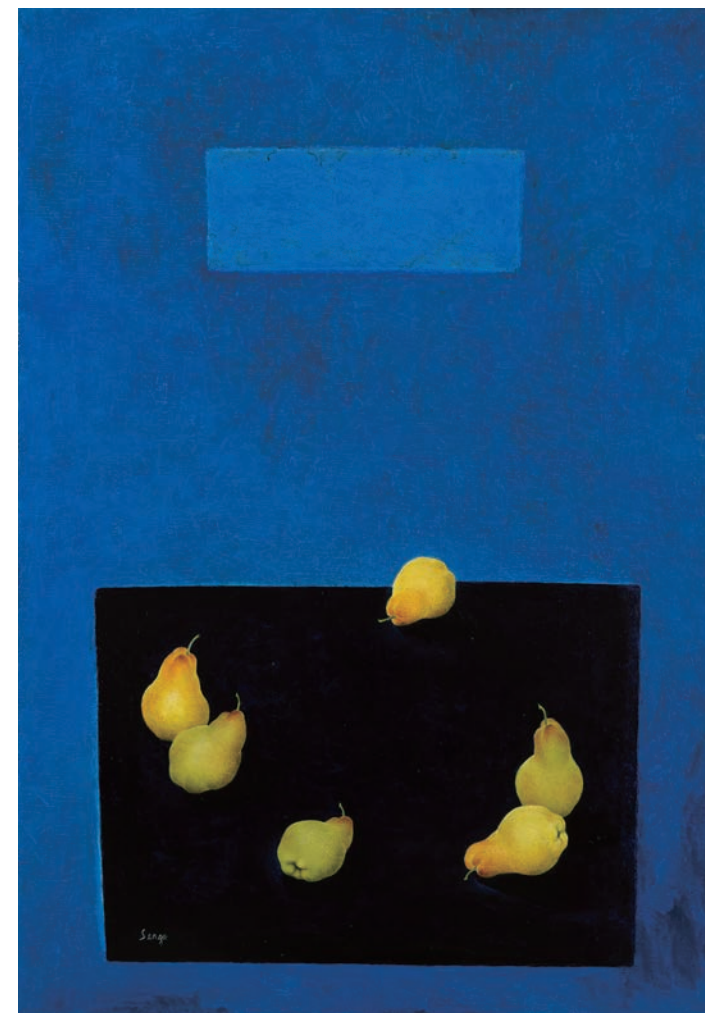
つなぎ美術館
TSUNAGI ART MUSEUM

〒869-5603 熊本県葦北郡津奈木町岩城494
TEL:0966-61-2222 FAX:0966-61-2223
www.tsunagi-art.jp

つなぎ美術館
TSUNAGI ART MUSEUM

展覧会スケジュール / 施設案内

2022.4-2023.3 SCHEDULE & INFORMATION



《アトリエにてⅢ》千賀友子 1994年 つなぎ美術館蔵

2022-2023 SCHEDULE

展覧会スケジュール

たろうつなぎプロジェクト

日本の昔の絵画を現代の視点で再構成したニッポン画を提唱する、たろうが住民とともに取り組むアートプロジェクト。成果は企画展「たろうとニッポン画わたし話」で披露します。

プロジェクト期間：4月1日～1月22日
展覧会期：11月26日～1月22日



《熊本ものがたりの屏風 子供の思い出銀紙屏風》
2017年 熊本市現代美術館蔵

柳幸典 入魂の宿

柳幸典の大規模な屋外作品《入魂の宿》が5月に完成し公開が始まります。

会場：旧赤崎小学校付近



《入魂の宿》イメージ

五十嵐靖晃 海渡り

五十嵐靖晃が津奈木町を定期的に訪れ4年がかりで住民とともに完成させた《海渡り》。毎年、秋の弁天祭りに合わせて一定期間だけご覧いただけます。

展示期間：2022年秋

会場：旧赤崎小学校付近

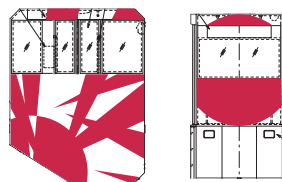
※悪天候等により展示期間が変わる場合があります。



《海渡り》2021年 つなぎ美術館蔵

柳幸典 ラッピングモノレール

令和2年7月豪雨により被災し運休していたモノレールが現代美術家、柳幸典監修のラッピングを施した新車両により運行を再開しました。



1F 展示室

4
April

5
May

6
June

7
July

8
August

9
September

10
October

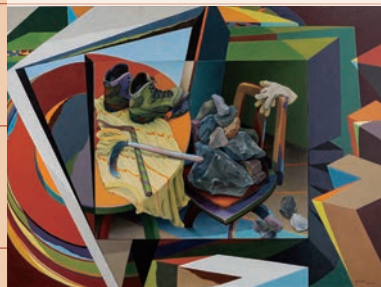
11
November

12
December

1
January

2
February

3
March



《石》2016年 作家蔵

4/23(土) △ 7/18(月・祝)
澁田安子 いつかたどり着いたら

関連
プログラム

記念対談：4/23(土) 14:00～

海老原喜之助の薫陶を受け、ルネサンス的空間とセザンヌ的空間を複合体として同じ画面で共存させる独自の表現を追究し、現在も精力的に制作を続ける澁田安子の初期から近年までの絵画を展示します。

7/30(土) △ 8/28(日) 熊本の戦後美術'22(収藏品)

坂本善三、吉田政照、川上尉平など戦後の熊本で活躍した画家の作品を展示します。

《城》坂本善三 1971年 つなぎ美術館蔵



《Where is NIRAICANA!-The flag little girl》平川恒太 2014年 作家蔵 ※参考作品

9/10(土) △ 11/13(日)
光と陰のアンソロジー この世界にただ独り立つ
平川恒太 山本草介 外山恒一

人間が内包する矛盾や葛藤を独自の視点で解析し、タブーを恐れず表現活動へと昇華させてきた三人の表現者の作品を展示します。

有料



《もんしえん》山本草介 2006年 作家蔵
※映像部分 ※参考作品

11/26(土) △ 1/22(日)

たろうつなぎプロジェクト成果展
たろうとニッポン画わたし話

日本の昔の絵画を現代の視点で再構成したニッポン画を提唱する、たろうが住民とともに取り組むアートプロジェクト「たろうつなぎプロジェクト」の成果展。過去作品と新作を交えて展示します。

《四季紅白幔幕図》2009年 熊本市現代美術館蔵

《熊本ものがたりの屏風 森本模表具材料模》2017年 島田美術館蔵

3F 展示室

4/23(土) △ 7/18(月・祝)

境野一之 ヨーロッパの風景画(収藏品)

第二次海老原美術研究所の所長を務めた境野一之が、欧州旅行での体験をもとに描いた油彩画を展示します。



《アレキサンダー橋群》
1964年 つなぎ美術館蔵

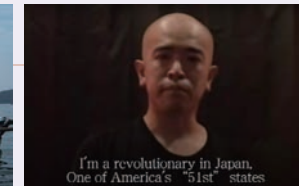


《口》2021年 作家蔵

U-39 7/30(土) △ 8/28(日)
上野洋嗣 イマジナリ→リアル ～理想の風景を求めて～
熊本ゆかりの若手作家の作品を紹介する「U-39KUMAMOTO」。故郷の熊本を拠点に創作活動をつづける気鋭の画家、上野洋嗣の新作などを展示します。

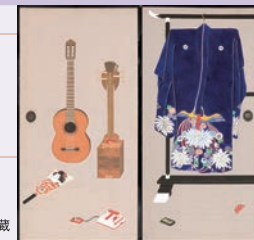
無料

有料



《アメリカ大統領選立候補表明演説》外山恒一
2008年 作家蔵 ※映像部分 ※参考作品

有料



照明改修工事のため展示室は閉鎖します。